



不育症でも 妊娠・出産できる?



不育症の方も

80%以上の方が
出産することができます。

不育症経験者(27歳女性の場合)

Q.1 どのようにして不育症とわかりましたか。

A. 初めて流産した時は、よくあることと言われ
納得するしかありませんでしたが、流産が2
回続いたので原因を知りたいと思いました。
医師から納得のいく答えが得られなかったの
で転院すると、そこの医師から不育症ではな
いかと言われました。

Q.2 治療はどのようでしたか。

A. 転院先の医師から、少し遠い病院でしたが
専門医を紹介され、思い切ってそこで治療す
ることにしました。治療中にも何回か流産を
しましたが、治療の甲斐あって今こうして息
子を抱くことができました。

Q.3 最後にメッセージをお願いします。

A. 私も、不育症という言葉すら知らなかったし、
相談して良いことなのかと一人で悩むことも
ありました。流産を繰り返している女性やこ
れから妊娠を考えている女性には、不育症と
いう病気の存在や、それを治療するという選
択肢があることを知っておいてほしいです。



相談窓口は ありますか?

静岡県では、専門家による
電話相談や面接相談をしています。
お気軽にお電話ください。

相談窓口

TEL: 080-3636-3229

静岡県不妊・不育相談センター
火・木・土曜日: 10時から15時まで
(火曜日は19時まで 祝日を除く)

不育症相談用リーフレット検討委員:
朝比奈 俊彦(浜松医科大学産婦人科学教室)
鴨狩 直子(焼津市立総合病院 助産師及び不妊症看護認定看護師)
佐野 文示(三島市健康づくり課 保健師)
協力: 齋藤 滋(富山大学大学院医学薬学研究部産科婦人科学教室 教授)

静岡県健康福祉部子ども未来局 子ども家庭課
静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3759 FAX.054-221-3521

E-MAIL kokatei@pref.shizuoka.lg.jp

子どもが
ほしいと
思っている
あなたへ

不育症を 知っていますか



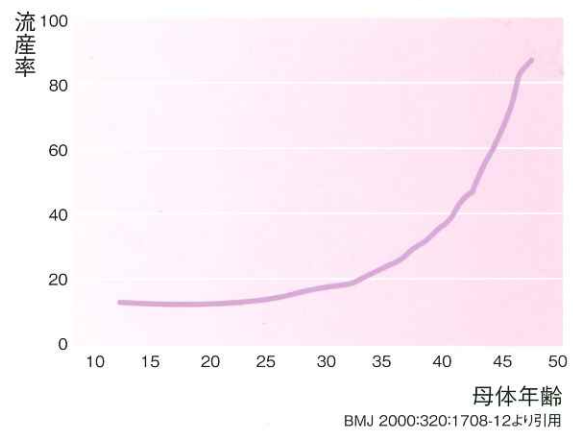
静岡県

Q&A 不育症って何?

不育症とは、妊娠はするけれど、流産や死産、早期新生児死亡などを2〜3回以上繰り返して、子どもを持ってない状態をいいます。

どのくらいの人 が流産を繰り返すの?

通常でも流産は、妊娠の10〜20%の頻度で起こります。しかし、年齢が上がるほど、流産率が上がります。



妊娠歴のある35〜79歳の女性で調べたところ

1回の
流産経験者は
33.8%

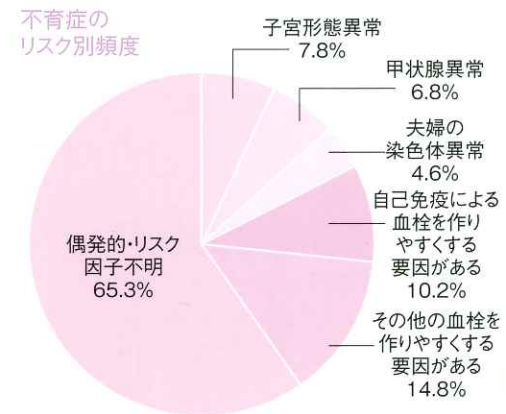
2回の
流産経験者は
3.3%

3回以上の
流産経験者は
0.9%

でした。

流産を繰り返す 原因って何?

妊娠初期の流産の約8割は、胎児(受精卵)の偶発的な染色体異常とされています。つまり反復する流産では、大半が胎児の染色体異常が偶然繰り返されただけのケースです。検査をして両親にリスク因子が見つからなかった場合には、次回流産の確率は低くなりますので、勇気を持って次の妊娠に臨みましょう。



N=527(年齢29.5歳〜39.1歳、既往流産回数2.8±1.4回、重複有り43件)

反復・習慣流産(いわゆる「不育症」)の相談対応マニュアル
監修:齋藤 滋(富山大学医学薬学研究部産科婦人科学教室 教授)
(平成24年3月発行)より引用



検査では 何を調べるの?

		検査内容	医療保険の適用	保険点数
一次スクリーニング	子宮形態検査	経腹超音波	○	530点
		子宮卵管造影	○	346点
		子宮鏡	○	220点
	内分泌検査	甲状腺機能	○	114点
		糖尿病検査	○	112点
	抗リン脂質抗体※1	抗カルジオリピンβ2 グルコプロテインI複合体抗体	○	223点
		ループスアンチコアグラント	○	281点
		抗CLlgG抗体	○	243点
		抗CLlgM抗体	×(薬事未承認)	自費
	小計			
選択的検査	抗リン脂質抗体※1	抗PEIgG抗体 (抗フォスファチジル エタノールアミン抗体)	×(薬事未承認)	自費
		抗PEIgM抗体	×(薬事未承認)	自費
	凝固関連検査※2	第XII因子活性	○	233点
		プロテインS活性もしくは抗原	○	170点
		プロテインC活性	○	260点
		プロテインC抗原	○	252点
		APTT	○	29点
	小計			
合計				②3,013点

(平成26年4月1日現在。保険点数は1点10円。)

- ※1 「自己免疫による血栓を作りやすくする要因」を調べる検査
 - ※2 「その他の血栓を作りやすくする要因」を調べる検査
 - 実際の保険適用は病名や検査回数により異なります。主治医に御確認ください。
 - 他に夫婦染色体検査を行う機関もあります。
 - ①一次スクリーニングは実費で20,690円、保険適用で6,207円程度かかります。
 - ②選択的検査を含めると実費で30,130円、保険適用で9,039円程度かかります。
- 反復・習慣流産(いわゆる「不育症」)の相談対応マニュアル
監修:齋藤 滋(富山大学医学薬学研究部産科婦人科学教室 教授)(平成24年3月発行)より引用

どんな治療をするの?

血栓をつくりやすくする要因があると診断された方には、低用量アスピリン療法やヘパリン療法があります。ヘパリン療法では、妊娠反応陽性時、または妊娠初期から陣痛が発来するまで、1日2回注射します。費用は月額約4万円、保険適用により1万3千円程度かかります。ただし治療方法は個人によって異なります。実際に治療される方は主治医とよく御相談ください。

不育症の原因にはストレスが関わることもあります。その対策としてTLC(Tender Loving Care)が有効です。TLCとは、医療者がカウンセリングを行うことや、治療方針をしっかりと説明すること、家族や友人が話を聞くこと、職場で配慮すること等をいいます。周囲との信頼関係が大切です。気軽に相談してみましょう。

